



日の山

<https://www.ube-ygc.ed.jp/hke/>

学校教育目標：ふるさと東岐波を愛し、夢の実現に向けて意欲的に学ぶ子どもの育成

9月25日発行

人権教育について

「人権」と聞いてどのようなことを思い浮かべられるでしょうか。人権は、すべての人にとって欠かすことができない話題であり、私たちの生活と深く関わっていると言えます。あまり、日ごろから意識はしていなくても、私たちの生活ととても身近な話題ということができると思います。では、その人権に対して、生活のさまざまな場面でどのような思いをもたれていらっしゃるでしょうか。公共の場において、あるいは自分たちの周りの人間関係に目を向けてみると、意外にも自らの行動と関係が深いような気がします。

夏休み中に全教職員で参加した宇部市小中学校人権教育研究集会では、「アイヌ民族の文化、歴史、願いについて」というテーマで、アイヌ民族の方々当事者の思いについて知ることができました。お話の中で印象的だったものがたくさんあるのですが、「『人権問題』」というと、どうしても『差別』のことばかりクローズアップされてしまいがちだが、『知る』ことが大切だということ。お互いの立場を知るためには『一方的に話すのではなく、相手の言葉を聞き、そして互いに伝え合い認め合うこと』ということが私個人としては、特に心に残りました。

同じような話は、いまだ核兵器廃絶を訴え続けている、広島で行われた「平和記念式典」での松井広島市長や子ども代表の小学生の児童の宣言からも聞かれました。「自国のことのみに専念する安全保障政策そのものが国と国との争いを生み出すものになっているのではないか。対話を通じた信頼関係に基づく安全保障体制の構築に向けた議論を。」と。

東岐波地区では、各地区で学習会が開かれるなど、地域の皆様に人権意識を高められていることを知り、とても感銘を受けています。

本校では、10月18日（土）に、人権教育参観日、人権教育講演会があります。今年度の人権教育授業参観では、各学年とも「相手の立場を考える」という相手に意識を向けた学習を行うことによって、お互いの人権を大切にしようとする気持ちを深められたらと思っております。子どもたちと一緒にご家族、地域の皆様とも、このようなさまざまな人権問題という同じテーマで、思いを共有することかできると幸いです。

授業参観の後の人権講演会では、山口県出身で、ハンセン病療養所元入所者の福山 敏雄 様を講師としてお招きし、お話を聞く予定になっています。ぜひ、多くの地域・保護者の皆様にも講演会に参加していただき、「知る」ことから始める一人として、ご一緒に時間を過ごすことができればと思います。

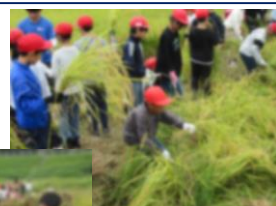
東岐波小学校 人権教育担当

さまざまな秋の行事

9月下旬から10月にかけて、秋の様々な行事が計画されています。修学旅行や宿泊学習、社会見学、習字教室、人権参観日などが予定されており、校外での学習や伝統文化にふれる学習が多くあります。普段の学校生活では得られない貴重な経験を通して、子どもたちがさらに成長することを期待しています。



5年生
稲刈りの様子
(9月24日)



10月の日の山レSTRAN

10月の日の山レSTRANは、地域行事（ふるさと運動の稲刈り）のあとに、いつも通りオープンします。

記

- 1 日 時 10月11日（土）12：00～
- 2 場 所 ふれあいセンター2階
- 3 食事代 100円

9月の参観日

夏休み明けの2学期最初の参観日には、多くの方のご参観をいただきました。おうちの方と一緒に学習を進める学年もありました。授業中の子どもたちの様子をしっかりとご覧いただけたことと思います。また、力作ぞろいの校内科学作品展、学年ごとの作品展も開催しました。大変暑い中、ご来校ありがとうございました。

<お願い>

参観日等でご来校の際、近隣に無断でお車を止められないよう、今後ともご理解・ご協力をお願いします。